

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成 20 年 5 月 12 日	
		作成部署	建設交通部道路管理課	
事業名	国道 178 号 交通安全施設等整備事業	構想番号	(建・道) 構 20-7	
		地区名	舞鶴市丸田東地内 <small>まるたひがし</small>	
概算事業費	約 4 億円	事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度	
事業概要	歩道設置 L = 620 m W = 6.5 (10.5) m			
関連する公共事業	なし。			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	主要な評価の視点			
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO ₂ 排出量等) 地形・地質 物質循環 (土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	・現道は見通しが悪く、歩道がないため、車両の速度低下をきたし、CO ₂ 排出量が多い。 ・地形改変の抑制を図る必要がある。	・道路線形の改良、歩道設置により交通が円滑化し、CO ₂ 排出量が削減。 ・現況道路幅員を極力利用した道路線形を採用。	△
生活環境	水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など	・現道は見通しが悪く、歩道がないため、車両の速度低下をきたし、排気ガス排出量が多い。	・道路線形の改良、歩道設置により交通が円滑化し、排気ガス排出量が削減。	○
地域個性・文化環境	景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など	・建設予定地の周辺は、山と川に挟まれた、自然豊かな地域であるため、土地の大幅な改変による景観への影響を極力避ける必要がある。	・現道を利用した道路線形による現道拡幅とし、盛土量を削減することにより、現状の自然環境を極力維持する。	△
地域の環境像	本事業は通学路における歩道設置工事であり、周辺は山と川に囲まれた自然豊かな箇所である。本地域の自然環境や景観を維持するとともに大気環境の改善措置を行う。			
特記事項	なし			

※「環境評価」欄には、評価項目ごとの環境配慮の自己評価を記載する。(改善○、中立△、悪化×)